

日本大学生物資源科学部放射線利用施設

研究業績

平成 30 年度

糸長浩司、東電原発放射能公害から 7 年、求められるもの、環境と公害、2018 年 7 月、岩波書店、3-9

糸長浩司、監修著、東日本大震災・復興の 7 光と影、「BIOCITY 75 号」、(株)ブックエンド、2018 年 7 月、全 127p

糸長浩司編共著、震災復興から俯瞰する農村計画学の未来、2019 年 3 月、農林統計出版、p450

糸長浩司、原発事故による核公害に対処する長期的農村計画の深化、日本建築学会大会農村計画委員会協議会資料、2018 年 8 月

糸長浩司、原発事故による核公害に対処する長期的農村計画の深化、日本建築学会大会農村計画委員会協議会資料、2018 年 8 月

Koji Itonaga・Kenji Uragami・Masataka Seki、Limits of decontamination of residential land in rural areas radioactively contaminated by Tokyo Electric Power Company Fukushima nuclear power plant accident、Proceedings of the 12th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia、2018 年 10 月

著者名 R. Miyazawa, N. Murata, Y. Matsuura, Y. Shibasaki, T. Yabu, T. Nakanishi.

標題 Peculiar expression of CD3-epsilon in kidney of ginbuna crucian carp.

掲載誌名 Frontiers in immunology.

巻、号、始頁—終頁 9, 1-15.

発表年 2018 年 6 月

浦上健司・糸長浩司、東京電力原発事故による放射能公害地飯舘村における村民の帰村意識及び農的暮らしの課題、2018 年度日本建築学会大会(仙台)学術講演梗、2018 年 9 月

糸長浩司・浦上健司、東京電力原発破局地飯舘村等での除染限界と不条理な避難解除を問う、2018年度日本建築学会大会（仙台）学術講演梗、2018年9月

糸長浩司、除染土壌の村内再利用を考える、IISORA 第10回シンポジウム 2019 福島「原発事故から8年、「放射能公害」と飯舘村再生への闘い」、飯舘村放射能エコロジー研究会、2019年2月、福島

発表者名 Jiro Miyamae, Hayato Yagi, Masaharu Okano, Fumihiko Katakura, Takashi Shiina, Tadaaki Moritomo

標題 Quantification and characterization of allo-reactive T cells in dog

学会名 14th Congress of the International Society of Developmental & Comparative Immunology

年月日 2018年6月19日

発表者名 宮前二郎，八木勇人，岡野雅春，片倉文彦，中山智宏，椎名隆，森友忠昭

標題 イヌの混合リンパ球反応におけるアロ反応性T細胞増殖の定量および定性

学会名 第161回日本獣医学会学術集会

年月日 2018年9月11日

発表者名 押田博道、大谷直也、井出舞美、新井直人

標題 Rad51 重合体形成の欠損変異の解析

学会名 日本分子生物学会

年月日 2018年11月30日

発表者名 栗原 正樹、小野 文靖、金井 皓一郎、新井 直人

標題 出芽酵母 Rad52 の C 末端 DNA 結合領域の機能

学会名 日本分子生物学会

年月日 2018年11月30日